

マネジメントコース研修生のつばやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース(※)の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校で一年間を過ごす研修。研修期間中の概ね半分は自治大学校の実務に従事、半分は通常の研修(第1部課程等)を履修することによって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

4月に自治大学校に派遣されてから、執筆時点で5か月が過ぎました。

私は、1年間の内、前半の半分を自治大学校の職員として勤務する特別研修生として、4月15日から始まった基本法制研修A第8期、その後の第1部課程第138期の課程運営を担当しました。

着任してまだ右も左も分からない状態の中、2週間後にやってくる研修生を迎えるために、準備運動する間もなくいきなり全力疾走の毎日でした。

基本法制研修とそれに続く第1部課程研修の研修期間中は、私1人のミスにより研修生全員の研修に支障を来しかねないという重責を負いながら、常に先を見据え、講義や演習の事前準備はもちろんのこと、特に研修生に対する指示事項、連絡事項の伝達に関しては、きめ細かに、かつ漏れのないように細心の注意を払いながら運営に務めることを心がけました。(できていたかどうかはわかりませんが…)

勤務時間中は、このように気を張り詰めながら業務に従事していましたが、勤務時間外では、研修生の皆さんから、飲み会に誘っていただいたり、誕生日を祝っていただいたりと、とても仲良くしていただき良い思い出となりました。

そんな忙しい日々を過ごし、去る8月10日、第1部課程第138期の卒業式が無事に終えることができました。

約4か月間の課程担当という激務を終え、自分の研修が始まる10月中旬までの2か月間くらいはゆっくりできるかなと思いきや、今度は、終了した研修の終了報告だの、次期研修の企画検討だの、果ては来年度の研修の見直しだなどと、余韻に浸っている時間も与えてくれません。本当に人使いが荒い職場です。

毎年派遣される特別研修生の人数は、その年によって違っており、今年度は9人です。(H30～8人、H31～10人、R2～10人、R3～11人)

当然ながら、人数が少なければ一人当たりの業務量は増えます。

正直、今年度の9人という人数では、一人当たりが担当する業務としては、多少の差はあれどもとても多く、適切な業務量ではないと感じました。

もし、派遣元の人事担当者から、特別研修生としての派遣の打診を受けた場合は、「特別研修生が何人いるか自治大に確認してもらえますか。」と人事担当者に働きかけることをお勧めします。

後半は「つばやき」というか「ぼやき」になってしまいました…。(M. S)



敷地内の池で子育てをするカモ